

キャラクター名
カースド・ジャスパー

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ソラリス	ワークス	レネゲイドビーイングD	カヴァー	宝石
オプション		年齢	不明 (長生き)	性別	性別の認識はない
覚醒	無知	衝動	加虐	初期侵食率	35 %
出自	母なる大地	経験	旅	邂逅	腐れ縁: "タイガーアイ"

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	4
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	6	1	1			8	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	6	
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
古の悪夢<リメンバー・ホープ>	交渉	8r+12		1+2d10		侵食7/コンセ+恐怖+テンプ/装甲無視/オーヴァードに対して攻撃力1+2d10/HP-3
@100-	交渉	11r+14		2+2d10		攻撃力2 (+2d10) /装甲無視/HP-3
百億の希望と絶望<リターン・ティスピア>	交渉	8r+12		1+10+2d10		侵食9/コンセ+恐怖+夢魘+テンプ/オーヴァードに対して攻撃力11+2d10/HP-3
@100-	交渉	11r+14		2+12+2d10		攻撃力14 (+2d10) /装甲無視/HP-3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
アクセサリ	
応急手当キット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
対抗種	P	N		
(昇華) タイガーアイ	P 親近感	N 隔意		
シナリオ: プランナー	P 尽力	N 疎外感		
火燈輝響	P 連帯感	N 隔意		
木羽恭一	P 感服	N 恐怖		
紡直人	P 尽力	N 不安		
岸保カリ	P 懐旧	N 不安		

最大財産P: 16 残り財産P: 13

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	-	RB	
効果:	衝動判定のダイス+Lv個/侵食率基本値+5							
オリジン: ミネラル	1	2	マイナー	至近	自身	-	RB	
効果:	シーン中の装甲値+[Lv*2]							
コンセントレイト: ソラリス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-Lv (下限7)							
絶対の恐怖	1	3	メジャー	視界	-	交渉	-	
効果:	攻撃力:+Lvの射撃攻撃/装甲値無視							
夢幻の腕	5	2	メジャー	至近	-	交渉	-	
効果:	このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力+[Lv*2]							
テンプテーション	3	2	メジャー	-	-	交渉	-	
効果:	このエフェクトを組み合わせた<交渉>判定の達成値+[Lv*2]							
宵闇の魔花	1	4	オート	視界	単体	-	-	
効果:	対象が判定を行った直後に使用/その判定の達成値に+[自分の【社会】]する/対象はメインプロセス終了時にHPを5点失う/対象はこの効果を拒否できる/1ラウンド1回、1シナリオLv回							
快樂の香気	★	-	メジャー	視界	効果参照	自動成功	-	
効果:	においを嗅ぐだけで恍惚とするような快樂物質を散布するエフェクト/エキストラのみ効果あり							
隠し味	★	-	メジャー	至近	効果参照	自動成功	-	
効果:	特定の化学物質を作り出し、食事を味を向上させるエフェクト/味に対してキャラクターがどのように感じるかは、GMが決定							
細菌環境操作	★	-	メジャー	視界	シーン(選択)	自動成功	-	
効果:	細菌環境を操作するエフェクト/必要に応じて<RC>判定							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

Cursed Jasper (呪われた碧玉) — You're dread.

元は永い年月をかけて大地の中で育った、とても大きく美しい宝石。後に人間の手によって採掘され、ある大富豪の手に渡った。その価値は当時、数十〜百億とまで言われた。しかし彼は宝石に手で触れた途端に変死。彼の子どもたちも同じように奇妙な死を遂げた。その度に大きさや形が僅かに変わるなどしたため、やがて呪いの宝石として人々から恐れられ、忌み嫌われると共に人目を引くようになり、様々な美術館に展示されることになった。

後に美術館から盗み出されて溶鉱炉へ落とされたが、人知れず復活して自由の身となった。いつの頃からか『対抗種』の力を持っており、『呪い』は所有者一族がオーヴァードであったために起きた不運な事故だと思われる。力が発現するたび自身も少しずつ壊れていったため、今では当時よりも小さくなっている。

かつての記憶により人間はすぐ壊れてしまうという認識があり、ちょっぴりブルーな性格をしている。自分を求めたり嫌ったり悲喜交々で忙しない彼らに興味はあるが、どう接するべきかは未だに迷っている。人間は美しいものに弱いと考え、人に近づくため自分の美しさを磨く日々。というより能力を使うたびに磨かれる(物理)。今はきちんと力を制御しているため相手をすぐ傷つけるようなことはないが、直接触られるのはまだ苦手。

対抗種でありレネゲイドビーイングでもある彼(?)は生きてるだけで常に身を削っているようなもので、力を使い続けられればいずれ自我ごと壊れてしまうか、より深刻な事態に陥るかもしれない。本人は「これが人間で言うところの美人薄命というやつだろう」と思っている。生きてるだけで致命傷。性質上、同族とは特に一定の距離を保ちたがっているが、プランナーにはいつも先回りされるので少し困っている。